

令和2（2020）年 7 月 30 日

報道関係者

地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター
総合情報発信室

テレビ・ラジオ番組の脚本資料受入れ のお知らせ

国際日本文化研究センター（日文研）では、一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムより、同コンソーシアムが収集してきた放送脚本資料の一部を寄贈いただく運びとなりました。

1950年代以降のテレビ・ラジオ番組の脚本5,500冊超を今後数年間にわたって受け入れる予定です。このたびその第一弾として、2000年代以降のNHKラジオドラマの脚本を中心とする約800冊を受贈いたしました。

放送番組の場合、映像や録音が残っていないものが多く、脚本は日本の放送文化を継承するきわめて貴重な資料です。日文研では、受贈した脚本を整理保管し、研究者をはじめ広く一般の利用に寄与してまいります。

○概要：

日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムは、文化庁の委託事業として、次世代に継承すべき文化的資料の保存を目的に、散逸の危機にある放送番組の脚本を収集・公開するとともに、調査研究活動を行っています。現在までに同コンソーシアムが収集した脚本・台本等は10万冊（複本等を含む）を超え、資料別に国立国会図書館、川崎市市民ミュージアムなど、いくつかの公的機関に分散寄贈のうえ、公開されてきました。

ところが、2019年10月12日の台風19号により、寄贈先かつ収集作業場でもあった川崎市市民ミュージアムが被災し、休館を余儀なくされています。休館は長期に及ぶことが予想され、作業場の移転に加え、寄贈先未定の資料の移管が決まりました。

日文研ではこの間、川崎市市民ミュージアムの復旧支援のため、コンソーシアムと協議を進めてきました。その結果、同ミュージアムが保管していた複本等の寄贈先未定の放送関係資料等が日文研へ移管されることとなりました。

（参考）日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム <https://www.nkac.jp>

本件問い合わせ先：国際日本文化研究センター 研究部 山田 奨治
TEL：075-335-2100 E-mail：shoji@nichibun.ac.jp